



林 声

2017

5 月号



國六株式会社新庄事業所（真庭郡新庄村）の黒田眞路（くろだ ましろ）さんは、新庄事業所長として社有林等の森林整備に取り組まれるとともに、新庄村森林セラピー協議会や新庄・蒜山スーパートレイル実行委員長として新庄村を活性化させるため日夜活動されています。（詳細はP 2に記載）

目 次

岡山・森林列伝	事務局からのお知らせ	13
（國六株式会社新庄事業所 黒田 眞路さん）	森林・林業施設の紹介（新見南認定こども園）	14
就任のごあいさつ		3
岡山県産材利用促進条例の施行		3
平成29年度主要事業の紹介		4～7
森林研究所だより		8
林業で必要な資格		9
イベント情報・狩猟免許試験		10
林産物市況		11

NEW 【ほっけ～木になる情報】

Q. 平成28年の全国の県別
ヒノキ丸太生産量が
発表されたと聞きました。
その結果は？



岡山・森林列伝

【真庭普及指導区】

一 はじめに

鳥取県と接している岡山県真庭郡新庄村で来年、創業120周年を迎える國六株式会社新庄事業所でご活躍されている黒田眞路さん（54歳）をご紹介します。



二 國六株式会社への就職

新庄村生まれの黒田さんは、まずは、米子市にある会社に勤められました。通勤や営業活動により、子育てなどの家族との時間とれず、地域活動もできないことから、地元への転職を決意したと振り返ります。

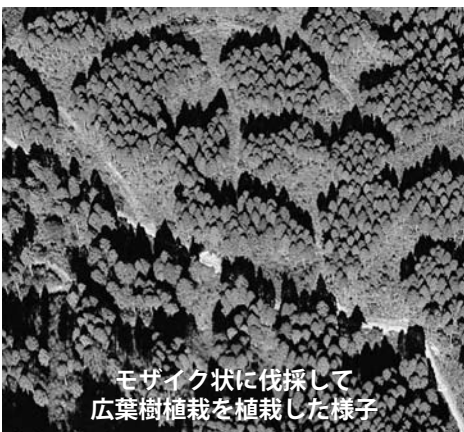
会社に初めて誘われた時はお断りされたそうです。それは黒田さんが子供の頃に見た、ブナ林が大

量に伐採される光景が悪いイメージとして残っていたためです。ところが、会社へ訪問し、事業内容などを知るうちに入社することになり、住宅用の建築資材販売の営業職として活躍されました。その後、会社が保有する社有林の素材生産に力を入れることになり、これを契機に黒田さんも林業に関わるようになったそうです。

三 社有林での森林づくり

社有林は新庄村内にスギ・ヒノキを中心として約1,400畝を有しており、これらを管理する現地事務所として新庄事業所が設置されています。

黒田さんはこの事業所に勤務され、平成11年からは事業所長として活躍されています。



モザイク状に伐採して
広葉樹植栽を植栽した様子

社有林の管理で心がけていることは、伐採において皆伐は行わず、針葉樹と広葉樹の面積を半々に残し、トチノキなど広葉樹を積極的

に植栽することだそうです。黒田さんは、アグレッシブにチャレンジされており、広葉樹の植栽も先の展望は分らないが100年先、150年先が楽しみで「夢がある」とお話しされており、この地域に愛されるよう、次の世代にバトンパスしながら、後々、笑われないような森林づくりをした

四 森林の利用で地域の活性化

森林を単一的に捉えず、川の源流としての森林、観光としての森林、経済林としての森林、労働・仕事を作り出す森林など、いろいろなバージョンがあった方が多様な社会ではたくさんの方があると黒田さんはお話しされます。

こうした思いから、広大な社有林を皆さんに開放し、森林セラピーやトレイルランコース、中学生の職場体験、県南の子供たちを山へ招待する活動を行っています。これまでの経験などから、情報発信するだけのPRよりも、皆さんに森林へ来ていただき、直接、森林

の風や香りを肌で感じていただく方が良いとお考えからだそうです。

特に若い人達へのアプローチが大切で、将来に向かって森林の良き理解者を育てることは大事なことで、どのように森林へ足を運び、どのような体験を提供できるのか、それを考えることは自分の役目とお話しされました。

例えば、岡山大学との連携に主体的に関わり、大学生が森林・林業を体験できる受け入れ活動を行っています。ここでの体験が新たな視点や物事を考えるきっかけとなり、将来、役立てていただければとお話ししてくださいました。

五 おわりに

このような活動ができるのは、協力してくださる方々をはじめ、会社が理解を示し、信頼してくれているお陰であり、もちろん本業である社有林の管理・経営も適正に行わなければならないとお話ししてくださいました。

言葉の端々に、黒田さんの感謝の気持ちや情熱、責任感の強さが伝わり、これからも益々活躍される姿が楽しみです。

（林業普及指導員 馬場宏治）

就任の「あつち」



森林研究所長
岡本 安順

若葉が薫る季節となりました。会員の皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度の人事異動により森林研究所長を拝命しました。誌上をお借りし一言ごあいさつを申し上げます。

森林研究所は、昭和27年に林業試験場として開設され、65年の歴史があり、開設当時の苗木生産拠点としての貢献に始まり、これまで時代の要請に応じた様々な成果を上げながら本県林業発展の一翼を担ってきたところです。これからもさらに、森林・林業における新たな行政課題に的確に対応しつつ、林業・木材産業関係者など地域の要請に沿った実用的な課題に取り組みむこととしております。

こうした中、本年度は21の課題に取り組みますが、中でも①シカ被害軽減に向けた防除技術の研究、

②軸組耐力壁用途としての県産ヒノキCLTの性能評価、③生産現場に適応した岡山県産木質防火材料の製造技術の開発の新規3課題と、④コンテナ苗を用いた低コスト造林技術の確立、⑤マツタケの省力栽培技術の開発、⑥木質バイオマス燃料の乾燥状態の向上に関する研究の継続3課題、合計6課題は、県林業をより高い水準に導く重要な課題と位置づけて取り組んでまいります。

さらに、各普及指導区を通じた相談への対応や、森林学習講座の開催、各種研修の実施など、林業技術普及指導の拠点としての役割を果たしつつ、少花粉スギ・ヒノキの優良種苗の供給や木材業界の技術力を支援する性能評価試験の実施など、林業・木材産業の現場の要望に応える実務にも力を注いでまいります。

今後とも皆様のお役に立てる研究所を目指して努力する所存です。一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

岡山県産材利用促進 条例が施行されました

木材を供給する森林には、水を育む水源の涵養機能や、大雨の時に洪水や土砂崩れを防止する治山治水機能など、多くの公益的な機能があります。それらの機能は、活発な林業の生産活動のもと、間伐などの森林の適正な整備が行われることで、初めて十分に発揮されます。

一方、県内のヒノキ等の人工林は、本格的な利用期を迎えているものが多く、公共建築物に限らず、幅広く利用促進を図る好機となっています。

こうした中、県産材の利用を促進し、健全な森林の育成並びに林業及び木材産業の持続的な発展に寄与することを目的として「岡山県産材利用促進条例」が制定され、平成29年4月1日に施行されました。

この条例では、県産材の利用の促進は、県産材の積極的な活用を通じた森林資源の循環利用により、森林の有する公益的機能を発揮させるとともに、環境への負荷の少

ない循環型社会の形成に資するように行わなければならないという基本理念のもと、県、市町村、林業や木材産業等の関係事業者及び県民等の役割を明らかにして、県産材の利用促進を図ることとされています。

今後、県では、条例に基づき策定する指針により、県産材の利用の促進に関する施策を総合的に推進し、その実施状況を毎年、公表することとしています。

条例については林政課HPをご覧ください。
(林政課林業木材班)

条例で定める県産材の利用促進における役割

岡山県（第4条、第7条、第9条）
・基本理念に即した県産材の利用の促進に関する総合的な施策の策定、実施
・県産材の利用の促進に関する施策を総合的に推進するため、指針を策定
・市町村が行う県産材の利用の促進の取組への助言・協力

県民及び事業者（第5条）
・基本理念についての理解を深め、県産材の利用の促進に協力するよう努力

関係事業者（第6条）
・関係事業者の相互連携・協力

1 主要事業の概要

平成29年度の森林・林業関係の主要事業をご紹介します。

県政において、最上位に位置付けられる「新晴れの国おかやま生き生きプラン」が策定され、平成29年度からの4年間で各種施策を実施します。「生き生き岡山」の実現と「21 おかやま森林・林業ビジョン」の目標達成を目指し、次の主要事業に取り組んでまいります。

●おかやまの木で家づくり支援事業

【担当課：林政課林業木材班】



木材需要の大半を占める住宅建築において、木造住宅の普及を促進し、品質の安定した県産乾燥材の積極的な利用を推進するため、県産乾燥材を一定量以上使用した住宅を新築する方へ助成します。

1 助成額 1件当たり 20万円

2 主な採択条件

- ① 県内に自ら居住するための新築一戸建て木造の個人住宅（建売住宅も含む）で、主要構造部材に8㎡以上の県産乾燥材を使用し、その使用量が木材使用量全体の50%以上を占める住宅
- ② 住宅の規模は、延床面積80㎡以上のもの 等

●公共空間県産材利用促進事業

【担当課：林政課林業木材班】



公共施設や学校、社会福祉施設等の公共建築物や観光地、商店街など多数の集客が見込まれる公共的な空間において、県産材を使用した床・壁の内外装や県産材製机・椅子等の木製用具、案内板やベンチ等を整備する場合に必要な経費の一部を助成します。

1 事業主体 市町村及び公共建築物等を整備する者

2 補助率 1/2以内（上限2,000千円/事業主体）

●CLT利用促進支援事業

【担当課：林政課林業木材班】



公共施設や不特定多数の集客が見込まれる施設等において、CLTを利用した建築物の木造化・木質化及び案内板やベンチ等の木製品を導入する場合に必要な経費やCLTを構造体として利用した建築物の設計に必要な経費の一部を助成します。

<CLT利用施設等支援>

1 事業主体 市町村及び公共建築物等を整備する者

2 補助率 補助対象経費の1/2以内（木製品の導入については、上限1,000千円）

<CLT利用建築物設計支援>

1 事業主体 市町村、公共建築物等を整備する者

2 補助率 補助対象経費の1/2以内（上限3,500千円/施設）

●おかやまの森林・林業を支える担い手対策事業

【担当課：林政課普及指導班】

人工林の豊富な森林資源を活用して林業のサイクルを循環させ、成長産業化につなげていくためには、優れた担い手が必要不可欠であることから、市町村等と連携した担い手対策への支援等により担い手の確保・育成を図ります。

[晴れの国おかやまの林業就業促進事業]

- 1 事業主体 県、(公財)岡山県林業振興基金
- 2 事業内容
I ターン等の就業希望者への働きかけによる就業促進への支援。
(就業ガイダンス、林業体験、情報発信等) (補助率：定額)



[林業インターンシップ促進事業]

- 1 事業主体 県
- 2 事業内容 林業関係学科の高校生等を対象にした林業技術に関する学習機会の提供

[地域林業の担い手サポート事業]

- 1 事業主体 市町村
- 2 事業内容
(1) 市町村が協議会を設置し、雇用・定住対策との連携により実施する就業相談や林業体験等の担い手確保の取組
(補助率：定額。ただし新規200万円、継続150万円上限)
(2) 新規就業者に必要なチェーンソー等の機材を導入する認定事業体等への支援
(補助率：1人当たり補助対象経費の1/2以内。ただし、補助対象経費20万円上限)



[林業担い手育成総合対策事業]

- 1 事業主体 (公財)岡山県林業振興基金
- 2 事業内容
(1) ニューフォレスター育成支援
・職場内研修支援
認定事業体等の新規就業者への職場内研修への支援
(補助率等：1人当たり月額5万円)
・技術習得支援
認定事業体等の現場作業員が、各種技能講習を受講する経費支援
(補助率等：定額)
(2) 安全装備等の導入支援
チェーンソー作業用防護衣、防音ヘルメット等の導入支援 (補助率：1/2以内)
(3) 林業退職金共済制度への支援
林退共の掛金の一部助成 (補助率：1/8以内)
(4) 林業事業体の経営改善
・森林施業プランナーの育成支援 (補助率：定額 ただし1事業体当たり40万円上限)
・認定事業体が経営改善を図るための経費支援 (補助率：定額 ただし1事業体当たり90万円上限)

[森林作業道作設オペレーター育成総合対策事業]

- 1 事業主体 県
- 2 事業内容 森林作業道作設を推進するオペレーター等の育成研修

[現場指導者育成対策事業]

- 1 事業主体 県
- 2 事業内容 林業事業体の現場指導者を対象とする、伐倒技術、指導技術等の向上のための実地研修



[林業労働安全衛生推進事業]

- 1 事業主体 林業・木材製造業労働災害防止協会
- 2 事業内容 災害防止のための巡回指導、労働安全衛生推進会議の開催への支援。(補助率等：定額)

●林地台帳整備支援事業

【担当課：林政課森林企画班】

森林所有者の世代交代等により、森林所有者の所在や林地の境界が不明な森林が増加しており、森林組合や林業事業体等が森林整備を進めるため所有者等を特定する作業に多大な時間とコストがかかっている状況にあります。

平成28年5月の森林法の改正において、市町村が統一的な基準に基づき、森林の所有者や林地の境界に関する情報などを整備・公表する林地台帳制度が創設され、全ての市町村が平成30年度末までに林地台帳を作成することとされました。

このため、法務局の登記情報を入手し、県所有の森林簿等と登記情報を突合した基本データを整備し、市町村へのデータの提供を通じて、円滑に林地台帳整備が進むよう市町村への支援を行います。

○ 林地台帳の整備・運用のイメージ



<期待される効果>

- ・現況調査の省力化
- ・施業集約化の促進
- ・路網の効率的な開設を支援
- ・生産性の高い高効率の作業システムの構築

●快適森林環境創出事業

【担当課：林政課森林保全班】



荒廃した里山林等を人が心地よい姿へ整備するとともに、松くい虫やナラ枯れの被害林等において被害木等を伐採し健全な姿に再生することにより、安全で快適な森林環境を創出し、併せて森林の持つ公益的な機能の回復を図ります。

〔里山林等再生事業〕

- 1 事業主体 市町村、森林組合
- 2 事業内容 不用木や竹林の伐倒・整理、緩衝帯の整備、ベンチの設置等（補助率：定額）

〔松くい虫被害林再生（被害松林危険木伐倒）〕

- 1 事業主体 市町村
- 2 事業内容 道路沿線等の倒木の危険性がある松くい虫被害木の伐倒・整理（補助率：1／2以内）

〔松くい虫被害林再生（被害跡地更新）〕

- 1 事業主体 (1) 市町村、(2) 森林組合
- 2 事業内容 (1) 当年度被害木の伐倒・整理、薬剤処理（補助率：1／2以内）
(2) 過年度被害木及び不用木等の伐倒・整理（定額）

〔ナラ枯れ被害林再生（広葉樹利用促進）〕

- 1 事業主体 (1) 森林組合、木材生産業者等、(2) しいたけ生産者等
- 2 事業内容 (1) ナラ枯れ被害の拡大を防止するために伐採された、しいたけ原木の運搬（定額）
(2) ナラ枯れ被害の拡大を防止するために伐採された、しいたけ原木の倒木接種（定額）

〔ナラ枯れ被害林再生（広葉樹保全再生）〕

- 1 事業主体 市町村、森林組合
- 2 事業内容 重要なナラ林等を保全するための樹幹注入（補助率：市町村 3／4以内、森林組合 定額）
被害木等の伐倒・整理、薬剤処理（補助率：市町村 3／4以内、森林組合 定額）

●造林事業



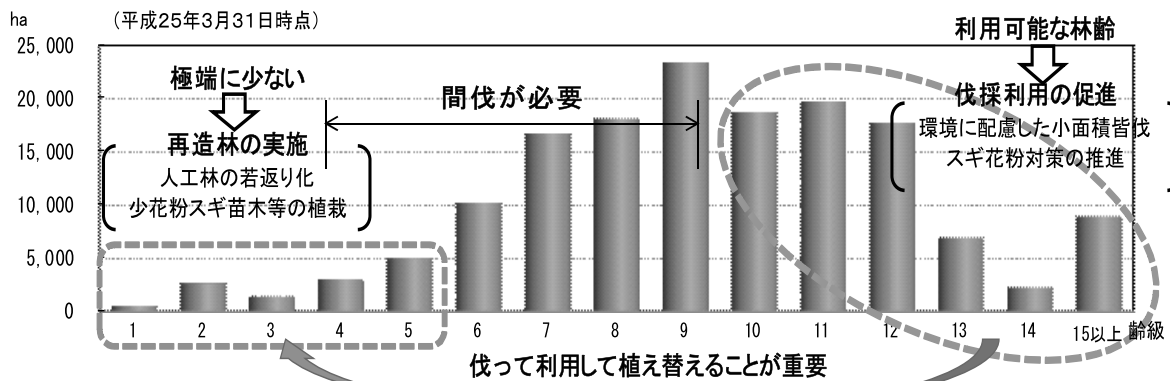
【担当課：治山課造林班】

森林の有する水源涵養^{かん}、地球温暖化防止などの公益的機能を持続的に発揮させるため、間伐を中心とした適切な森林整備を継続的に実施するとともに、小面積皆伐による少花粉スギ等への植替えを促進し、齢級構成の平準化を図るなど、健全で多様な森づくりを推進します。

特に間伐については、平成25年度から第8期間伐計画「おかやまの森づくり間伐推進5カ年計画」に基づき年間5,400haを計画しており、引き続き、造林補助事業や県民税事業等を活用し計画的な事業推進を図ります。

- ①造林事業【国庫】
- ②おかやま元気な森づくり推進事業【おかやま森づくり県民税】
- ③少花粉スギ等普及促進事業【おかやま森づくり県民税】

スギ・ヒノキ人工林の齢級構成



●治山事業



【担当課：治山課治山班】

山地災害から県土を保全し、森林の公益的機能の維持・向上や、良好な生活環境の保全・形成を図るため、治山施設の設置による防災対策や荒廃森林の整備を計画的に実施します。

事業名	平成29年度計画
治山事業(国庫補助分)	58箇所
森林維持管理事業	13箇所

●林道事業



【担当課：治山課林道班】

林業経営の合理化や、間伐など森林整備の促進、山村地域の振興を図るうえで基幹的な施設となる林道の開設・改良・舗装を計画的に推進します。

・林道の現況(平成28年度末見込)

路線数	総延長	林道密度
1,383路線	2,135km	4.8m/ha



森林研究所だより（平成29年度の主な研究課題）



森林研究所では、活力ある本県林業・木材産業の実現を目指すため、長期的な展望に立った試験研究を行っています。研究課題については、森林・林業・木材関係者などから広く公募するなど、地域の要請に沿った実用的な試験研究に取り組んでいます。

主な試験研究課題一覧

区 分	課 題 名	年 度
育 林 育 種	コンテナ苗を用いた低コスト造林技術の確立 (507千円)	27～29
森 林 保 護	⑧ シカ被害軽減に向けた防除技術の研究 (907千円)	29～31
特 用 林 産	⑧ 菌根性きのこのコンテナ感染苗育成技術の開発 (402千円)	29～31
	マツタケの省力栽培技術の開発 (460千円)	28～30
	岡山甘栗の栽培技術の確立 (402千円)	28～30
経 営 機 械	軽架線集材による搬出に関する研究 (546千円)	28～30
	森林作業道の路体強度に関する研究 (599千円)	28～30
計	林業研究室 7 課題 (3,823千円)	
材質特性の解明	⑧ 軸組耐力壁用途としての県産ヒノキCLTの性能評価 (614千円)	29～31
加 工 技 術 の 開 発・改 良	⑧ 生産現場に適応した岡山県産木質防火材料の製造技術の開発 (824千円)	29～31
	⑧ 乾燥木材の生産・利用段階等の実態解明と問題点の検討 (825千円)	29～31
	木質バイオマス燃料の乾燥状態の向上に関する研究 (1,027千円)	28～30
	伐採木材の高度利用技術の開発(受託) (754千円)	25～29
計	木材加工研究室 5 課題 (4,044千円)	
合 計	12課題 (7,867千円)	

主な試験研究の概要

【シカ被害軽減に向けた防除技術の研究】

シカによる農林業被害は、県東部に限られていましたが、近年、生息範囲が、県全域へ拡大しています。このため、シカの生息状況や森林被害の調査を実施します。また、多頭捕獲が可能な捕獲柵を開発するとともに、県北部など積雪地に対応した防護柵とその管理方法について検討します。

【菌根性きのこのコンテナ感染苗育成技術の開発】

急速に普及しつつあるコンテナ苗木を利用し、ホンシメジやコウ



コウタケの発生状況 (久米南町)

タケなど高価な菌根性きのこを生産するため、コンテナ苗の感染に適した種菌を開発するとともにこの種菌を感染させた苗木を林地に植栽し、付加価値の高いきのこの生産を目指します。

【生産現場に適応した岡山県産木質防火材料の製造技術の開発】

県産材の需要拡大を図るためには、今後、公共建築分野での需要が見込まれる内装材について、難燃化技術の開発・改良が必要不可欠です。このため、実大材における薬剤の注入処理条件等の解明、注入薬剤の溶出を抑制する技術について研究を行い、岡山県産材による木質防火材料の開発を目指します。



コーンカロリメーターによる燃焼試験

林業で必要な資格

林業における労働災害は減少傾向にあるものの、その発生率は全産業の12倍となっており、「労働災害のない安全で快適な職場」づくりが急務となっています。過去の労働災害には職場の安全教育が徹底されていれば防ぐことができたものもあつたと考えられます。安全教育にやり過ぎはありませんが、最低限のものが資格の取得だと認識しています。今回は、その主な資格について紹介します。

一 労働安全の資格

安全衛生教育、特別教育、技能講習、免許に区分できます(表1)。これは危険の度合いで区分していると考えればわかりやすいです。①安全衛生教育は、新規就業者が職場で安全かつ健康に過ごすために、労働安全衛生の重要性や作業者として守るべきことなどを教える教育です。②特別教育は、一定の危険又は有害な業務に就く際に必要な教育です。③技能講習、④免許は就業制限に該当します。就業制限とは資格を有する者でなければ、その業務に就かせてはならないことです。

免許は国家資格で免許試験に合格する必要がありますが、技能講習、特別教育の主なものは、岡山労働局長登録教習機関で受講・修了することで、資格取得できます。

これらの資格は、労働安全衛生法に基づき、雇用契約に基づく労働を対象としています。従って、自伐林家など雇用されていない方に対し、資格取得の義務はありませんが、安全教育が必要なことは言うまでもありません。是非、受講してみてください。また、講習修了者の方も、定期的に最新の講習テキストを手に入れ、知識を深めてはどうでしょうか。

二 使い方で異なる資格

自伐型林業で近年、手軽に集材できると話題の「ポータブルロープウインチ」を例にとると、直引き集材(材を空中に浮かせない)の場合は、特に資格は必要ありません。しかし、トラックへの積み込みなどで空中に浮かせる場合は特別教育「動力により駆動させる巻上げ機の運転の業務」が、また、主索を張って搬器で集材する場合に特別教育「機械集材装置の運転の業務」が必要です。使い方によって異なる資格が必要となることをご存じでしたか。

三 高性能林業機械の運転資格

平成26年に高性能林業機械の運転業務が「特別教育」の対象になりました。「技能講習」を要する車両系建設機械(バックホー)や不整地運搬車をベースマシンとしているものが多いにもかかわらず、これまで規制対象となっていました。ただし、教習機関が行う技能講習である車両系建設機械等とは異なり、事業体内での特別教育とされており、教習機関では全国的にもほとんど実施されていません。

四 その他の資格

労働安全衛生法上の資格以外にも、技術者の育成のための資格があります。(一社)日本森林技術協会が資格認定・登録する「林業技士」(八部門 林業経営・林業機械・森林土木・森林評価・森林環境・林産・森林総合監理・作業道作設)と「森林情報士」(四部門 森林航測・森林GISほか)もその一つです。そのほか、「森林総合監理士」という国家資格もあります。これは「市町村森林整備計画、森林経営計画の作成支援などを担う者」を国が資格試験し登録するものです。国・県・市町村の林務担当職員や民間の技術者が受験資格対象者です。

表1 主な資格例(労働安全)

区分	資格(例示)
①安全衛生教育	□刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育
②特別教育	□車両系建設機械の運転に係る特別教育(機体重量3t未満)
	□伐木等機械の運転の業務に係る特別教育(フェラーパンチャ、ハーベスタ、プロセッサ、木材グラブブル機、グラブブソー)
	□走行集材機械の運転の業務に係る特別教育(フォワード、スキッド、集材車、集材用トラクター)
	□簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育(タワーヤーダ、スイングヤーダ、集材ウインチ機、簡易架線集材装置)
	□玉掛けの業務に係る特別教育(つり上げ荷重1t未満)
	□伐木等の業務に係る特別教育(胸高直径70cm以上の立木の伐採)
③技能講習	□車両系建設機械運転技能講習(機体重量3t以上)
	□玉掛け技能講習(つり上げ荷重1t以上)
	□はい作業主任者技能講習
④免許	□林業架線作業主任者免許

五 おわりに

資格取得のためには、時間を割いて、勉強することが必要です。勉強しただけ知識も増え、業務の視野も広がってくるものです。是非、いろいろな資格取得にチャレンジしてください。そのためには、事業主のサポートが不可欠となりますが「安全で快適な職場」にするためにも理解と協力をお願いします。

(普及推進課 林業普及推進班)

森林・林業関係イベント参加募集

※詳細は申込先にお問い合わせください。

開催日時	場 所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
29. 6.18 (日) 9:30～14:00	高梁美しい森 及びその周辺	ブッポウソウ巣箱作成と生態観察会 環境省希少野生動植物絶滅危惧1Bに指定されているブッポウソウ保護活動の一環として実施します。どなたでも参加可能 参加費は無料 9:00までに高梁美しい森に集合 山野を歩ける服装、靴及び帽子、飲料水等持参 小学生以下の方には保護者同伴	NPO法人フォレスト フォーピープル岡山 〒716-0038 高梁市浜町1285-1 TEL (0866) 22-1000
29. 6.24 (土) 29. 6.25 (日)	イオンモール 岡山1階「未 来スクエア」	【おかやま木材フェスティバル】 ・木造受託、県産材の相談コーナー ・木製品の展示、販売 ・木育（木工教室、木のプール、ジャングルジム等）	一般社団法人 岡山県木材組合連合会 TEL (086) 231-6677

平成29年度狩猟免許試験のご案内

期 日	申 込 期 間	会 場
平成29年7月6日(木)	4月21日～6月22日	体験学習施設百花プラザ 所在地：岡山市東区西大寺南1-2-3
平成29年8月29日(火)	4月21日～8月15日	マービーふれあいセンター 所在地：倉敷市真備町箭40-1
平成29年9月10日(日)	4月21日～8月28日	グリーンヒルズ津山リージョンセンター 所在地：津山市大田920
平成29年12月6日(水)	4月21日～11月22日	体験学習施設百花プラザ 所在地：岡山市東区西大寺南1-2-3

お問い合わせ先

受験手続き等詳細な手続きにつきましては、下記へお気軽にお問い合わせください。

- 岡山県農林水産部農村振興課鳥獣害対策室 (086) 226-7439
- 岡山県備前県民局農林水産事業部森林企画課 (086) 233-9832
- 岡山県備中県民局農林水産事業部森林企画課 (086) 434-7052
- 岡山県美作県民局農林水産事業部森林企画課 (0868) 23-1384



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



林産物市況



木 材 (4月27日)

単位：千円/㎡

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り
杉	3 m	14~16	12	—	檜	3 m	14~16	17	13
		18~20	12	—			18~20	14	13
		22~28	12	10			22上	14	12
	4 m	18~22	10	—		4 m	14~18	18.5	15
		24~28	10	—			20~22	14.5	13
	6 m	16~18	15	13			24~28	15	13
松	3 m	18~22	10	8	6 m	16	29	25	
	4 m	18~22	10	8		18~20	29	25	
・ 出荷材積 約1,600㎡									
(共販所より概況)									
杉概況：3 m、4 m					檜概況：6 mは16cm以上の元太りの木である。				
柱 材 横這い					【3 m】 【4 m】				
中目材 横這い					柱 材 横這い 柱 材 横這い				
元 木 横這い					中目材 横這い 中目材 横這い				
					元 木 横這い 元 木 横這い				

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (4月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ~ 高 値 (円/㎡)
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特 等	K	50,000 (直送) ~ 55,000 (市場)
	正角 3 m 12cm角	特 等	K	50,000 (直送) ~ 55,000 (市場)
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特 等	K	60,000 (背割有) ~ 63,000 (背割無)
	正角 3 m 12cm角	特 等	K	55,000 (背割有・無) ~ 60,000
マ ッ	平角 4 m 10.5~12cm × 15~18cm	一 等	K	75,000
米マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特 等	G	54,000~56,000
	平角 3 m、4 m 10.5 × 15~21cm	特 等	G	55,000~
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特 等	K	70,000~75,000
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm × 10.5cm	特 等	K	57,000~

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーム 切土軟岩用	森樹郎マット 切土土砂用	森樹郎マット21 切土土砂用	張りウッド 盛土用	ハリシバモック 盛土用

岡山県エコ製品「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
http://www.nihon-shokusei.co.jp/
津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

安心と信頼の証を届けます

創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場
OHKUBO 大久保体育株式会社

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL(086)279-0585 FAX(086)279-0460
■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL(086)428-7576 FAX(086)428-6153
■東京営業所 〒201-0003 東京都江和区東町1-21-1(201) TEL(03)5761-9577 FAX(03)5761-9587

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

 **さんもく工業株式会社**

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
〔樹皮食い防止に〕 バークガード 〔野生草食獣食害防止〕 防獣ネット
〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
〔樹幹注入剤〕 マッケンジー注入剤
(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社
TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
TEL：06-6231-2819

優良種菌で確かな収穫


もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

緑あふれる環境づくり

 株式会社 **山都屋**

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所 津山営業所 水島営業所




CT-500C GP-532 小形ハイパワープロセッサ IWAFUJI INDUSTRIAL CO., LTD.

shindaiwa


高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社


津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
http://www.mitsuyoshi.com/


皆伐・再造林促進支援事業のご案内 岡山県森林組合連合会 

「伐って・使って・植えて・育てる」 ～林業経営を応援します～



再造林費については ha 当り上限 10 万円、
下刈り費は上限 5 万円を 5 年間助成します。
詳細につきましては、当連合会各支所又は
最寄りの森林組合へご相談ください。
(※森林組合の連絡先等は
岡山県森連ホームページにあります。)



 **「緑の募金」** ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間
春のみどりの月間
4月1日～5月31日
秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町 1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

【ほつけく木になる情報】
A. 4月に公表された平成28年
農林水産省木材統計によると、
岡山県のヒノキ丸太生産量は、
229千立方メートルで、平成24年か
ら5年連続で全国1位となりま
した。
県では、「新晴れの国おかやま
生き生きプラン」の生き生き指
標として、平成32年の県産材の
生産量530千立方メートルを掲げ、
県産材の需要拡大と林業収益性
向上対策を推進して、林業の成
長産業化につなげることをして
います。

事務局からのお知らせ
事務局では、会員の方から森林・
林業に関する質問や疑問、イベン
ト情報等、身近な話題の投稿をお
待ちしております。
また、新規会員も継続して募集
しておりますので、よろしくお願
いいたします。
【問い合わせ・送付先】
〒700-8507
岡山市北区内山下2-4-6
岡山県庁林政課内 または
〒717-0013
真庭市勝山1884-2
森林研究所 木材加工研究室内

平成二十九年五月一日（第四五三号）
（隔月一日発行）

編集 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
発行 岡山市北区内山下二一四一六
〒700-8750



「新見南園保育園」
新見市が平成28年度、旧正田幼稚園跡地に整備し、平成29年4月5日に開園しました。園児は、70人（6クラス）で、木造平屋建て延べ床面積約670平方メートル。県産材など94.4立方メートルを使用。アプローチの屋根にはCLTが使われている。

（新見普及指導区）

森林・林業施設の紹介



「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約2千7百万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 21,225円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 37,375円（5年間計）

1ヶ月あたり
約350円

わずかおむすび
3個分



1ヶ月あたり
約620円

わずかラーメン
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。（間伐材10%+古紙70%）

R70

認定番号
K0809236